

アンテック 配線工事不要の炎検出センサーを発売

陶芸機器販売の株アンテック（瀬戸内市邑久町豆田116-3、末石建二社長、資本金1000万円）は今春、コンセントタイプの屋内用炎検出センサーを発売する。新築住宅の火災警報機設置が6月から義務化されることに伴い、配線工事不要で火災規模の炎を検知できる性能を訴求していく。

家庭用コンセント（AC100V）に差し込むだけで使用可能。特殊フィルターによりライターやガスコンロの火には反応せず、火災規模の炎だけを検知し、内蔵ブザーで周囲に知らせ、初期火災を防止できる。

幅5.5cm、高さ8cmとコンパクトで、本体表面には玉野市出身のCGデザイナー・内尾和正氏のイラストをプリント。ユーザーが好みの画像をはめ込むこともできる。

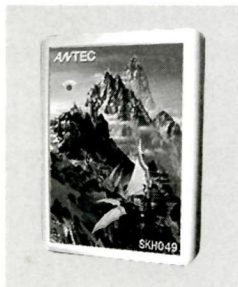
販売代理店を通じて1月中旬からサンプル出荷し、販売価格は2万4800円

と既存製品に比べて高性能ながらもリーズナブルな価格設定。

一般家庭向け火災警報器としての利用を想定しており、末石社長は「新商品は手軽さが特徴。

煙探知機の設置義務化をビジネスチャンスにつなげたい」としている。

同社は2月3、4の両日、広島市内で開かれる「第4回ビジネスフェア中四国」に、紫外線センサーを出展する。



配線工事不要の
炎検出センサー

平成18年1月23日

Vision 岡山